

アジア諸国への野菜新品種の導入及び育種素材としての活用支援事業

【平成31年度予算概算決定額 16（18）百万円】

<対策のポイント>

世界野菜センター（WorldVeg）が保有する野菜の品種・系統をアジア諸国と共同で評価・活用することにより、アジア途上国の栄養改善を図るとともに、我が国種苗産業の海外展開に必要な環境整備を推進します。

<政策目標>

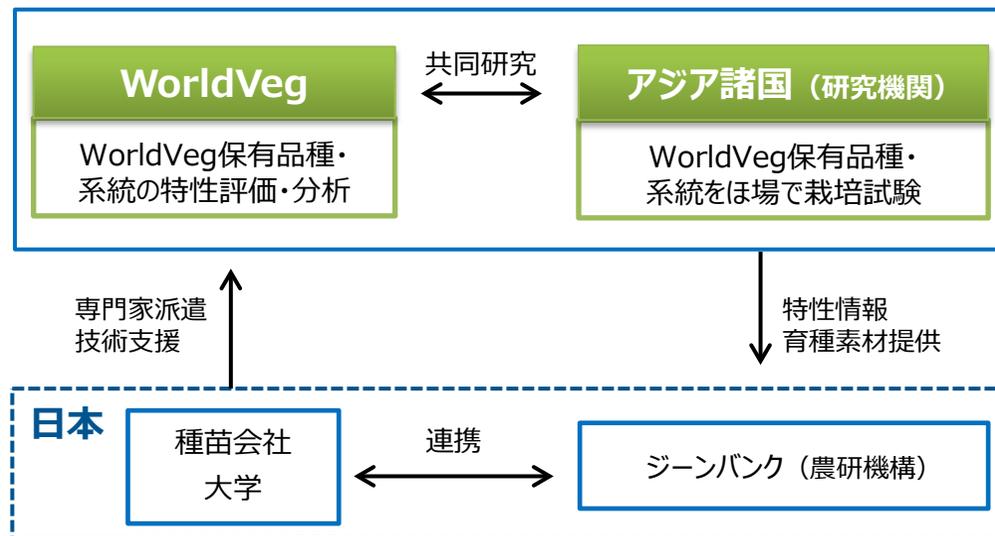
- アジア諸国に優良野菜品種が10以上導入され、貧困削減や栄養改善に貢献 [平成32年度まで]
- 我が国種苗産業の国際競争力を高め、アジア諸国における事業展開を支援 [平成32年度まで]

<事業の内容>

<事業イメージ>

アジア諸国への野菜新品種の導入等の活用支援事業

- アジア途上国では自国に適した品種の選抜・導入が遅れている一方、急速に成長するアジア地域は我が国の種苗産業の有望な市場であり、有望な遺伝資源を活用し、優良な野菜品種をアジア地域に導入するなど、我が国種苗産業の国際競争力の強化に向け、官民が一体となった取組に期待が高まっています。
- このため、世界野菜センター（WorldVeg）が保有する野菜品種・系統について、WorldVeg、アジア諸国の研究機関、我が国関係機関の連携により、アジア諸国の栽培環境等に適した品種を評価・選抜するとともに、優良な野菜品種・系統のアジア諸国への導入や我が国への育種素材としての活用を支援します。



これまでの成果

WorldVeg保有系統から重要病害に関する抵抗性系統等を評価・選抜し、優良な品種開発に利用
(例) カボチャ（うどんこ病抵抗性系統）
トマト（黄色化葉巻病抵抗性遺伝子）
唐辛子（炭そ病抵抗性系統）



かぼちゃのうどんこ病

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】

- (1) 大臣官房海外投資・協力グループ (03-3502-5913)
- (2) 食料産業局知的財産課 (03-6738-6444)